

## ● 埼玉県における協議方針

		意向あり	意向なし
紹介受診重点外来の基準	満たす	①	②
	満たさない	③	—

### 【紹介受診重点外来の基準】

初診に占める紹介受診重点外来（※）の割合が40%以上かつ再診に占める紹介受診重点外来の割合が25%以上

※医療資源を重点的に活用する入院の前後の外来、高額等の医療機器・設備を必要とする外来、特定の領域に特化した機能を有する外来

①	特別な事情がない限り、紹介受診重点医療機関とする
②	当該医療機関の意向を第一に考慮しつつ、紹介受診重点医療機関の趣旨を踏まえ当該医療機関の意向を再度確認しつつ、地域の医療提供体制の在り方を踏まえた協議を行う
③	紹介率・逆紹介率※を活用しつつ、当該医療機関の意向を踏まえた協議を行う

※国ガイドラインにおける参考水準は、紹介率50%以上かつ逆紹介率45%以上である。

## ● 紹介受診重点医療機関の通知・公表

- ・医療機関の意向と調整会議の結論が一致したものに限り、紹介受診重点医療機関として県ホームページ上で公表
- ・公表内容や公表日については、県から厚労省及び該当医療機関へ通知

## ● 診療報酬上の取扱い

- ・紹介受診重点医療機関入院診療加算・連携強化診療情報提供料の算定：公表日から算定可能
- ・紹介状なしで受診する場合等の定額負担の徴収：公表の日から6か月間の経過措置（周知期間）を経て請求開始

# 基準と意向が合致しないもの（利根圏域）

## 3 紹介受診重点外来の基準を満たしていないが紹介受診重点医療機関となる意向を有する医療機関

No	種別	区域	市町村	医療機関名	初診基準	再診基準	参考水準		基準該当の有無	紹介受診重点医療機関となる意向の有無	③の場合、参考水準は満たしているか C：50%以上 かつ D：40%以上	(参考) 病床数 【令和4年7月1日現在】	(参考) 特定機能 病院	(参考) 地域医療 支援病院
					A	B	C	D						
					初診の外来延べ患者数に対する紹介受診重点外来患者数の割合	再診の外来の患者延べ数に対する紹介受診重点外来患者数の割合	紹介率 (令和4年7月)	逆紹介率 (令和4年7月)	A：40%以上 かつ B：25%以上					
1	病院	利根	羽生市	医療法人徳洲会 羽生総合病院	26.1	36.4	29.5	27.8		○		308		
2	病院	利根	加須市	社会福祉法人恩賜財団済生会支部埼玉県済生会加須病院	0.0	0.0	72.0	74.5		○	○	329		○

※ 各院における紹介受診重点医療機関となる意向を有する理由は次ページのとおり

### 協議案

医療機関の意向を第一に考慮し、上記医療機関について県ホームページ等において、紹介受診重点医療機関として公表することとしたい。（令和5年9月1日公表）

## 1 医療法人徳洲会 羽生総合病院

当院は、羽生市唯一の病院であり、救急・がん等の医療に力を入れております。救急は紹介状の有無を問わず救急車やウォークインでの緊急受診患者様を昼夜問わず受け入れています。

また、夜間でも緊急手術やカテーテル検査、内視鏡、透析への対応も行っています。

がん医療においては、患者様へのがん治療の選択拡大のため、低侵襲ロボット支援手術ダヴィンチ(da Vinci) Xiを消化器外科と泌尿器科に導入、高精度放射線治療装置トモセラピーを導入しております。

また、診断に有効なPET-CT、SPECT、マンモグラフィーを有しており、外来化学療法センターや緩和ケア外来・病棟を配し、多面的にがんの早期発見や治療、及びフォロー体制があります。

令和5年度には、回復期病棟を増床予定で骨折等の手術後や脳卒中後などの急性期医療後に継続したリハビリが必要な患者様に在宅復帰に向けてリハビリ提供も継続できる体制もあります。

地域完結型医療を提供するにあたり当院の病院機能は極めて有効であり、紹介受診重点医療機関として基準を満たすに足りると考えます。

当院の理念は「断らない医療」です。埼玉県から救急医療功労医療機関として表彰していただいております。

コロナ禍の発熱患者様や陽性患者様の救急受入は県内一だと自負しております。

陽性患者の入院は、人工呼吸器やECMOといった重症者から軽症者や外国人、透析患者、各種手術適応患者、周産期や小児患者を県内外より多く受け入れてきました。

また、この地域ではいち早く帰国者・接触者外来をはじめとした発熱外来を設置し、各保健所からの依頼や発熱した患者様を地域問わず幅広く受け入れをしてきました。

そのため初診の患者数が多くなっていると推測されます。

## 2 社会福祉法人恩賜財団済生会支部埼玉県済生会加須病院

令和3年度の患者数等の数字については、当院が令和4年6月に移転してきたため患者数等報告なしとなったため「0」となっている。

地域医療支援病院に指定されている以上、紹介受診重点医療機関として地域の医療機関の役割を果たすべく病院運営を行いたい。

# (参考：令和5年7月協議) 基準と意向が合致するもの (利根圏域)

## 1 紹介受診重点外来の基準を満たしており紹介受診重点医療機関となる意向を有する医療機関

No	種別	区域	市町村	医療機関名	初診基準	再診基準	参考水準		基準該当の有無	紹介受診重点医療機関となる意向の有無	(参考)病床数【令和4年7月1日現在】	(参考)特定機能病院	(参考)地域医療支援病院
					A	B	C	D					
					初診の外来延べ患者数に対する紹介受診重点外来患者数の割合	再診の外来の患者延べ数に対する紹介受診重点外来患者数の割合	紹介率 (令和4年7月)	逆紹介率 (令和4年7月)	A：40%以上 かつ B：25%以上				
1	病院	利根	行田市	社会医療法人壮幸会行田総合病院	57.2	51.2	83.8	49.5	○	○	504		○
2	病院	利根	久喜市	新久喜総合病院	64.3	41.0	51.0	79.1	○	○	403		○

### 協議結果

上記医療機関について県ホームページ等において、令和5年8月1日に紹介受診重点医療機関として公表。

# (参考) 紹介受診重点外来について

## ○外来機能報告等に関するガイドライン (抜粋)

以下の①～③のいずれかの外来について、紹介受診重点外来とする。

### ① 医療資源を重点的に活用する入院の前後の外来

・ 次のいずれかに該当する入院を「医療資源を重点的に活用する入院」とし、その前後30日間の外来の受診を、「紹介受診重点外来」を受診したものとする（例：がんの手術のために入院する患者が術前の説明・検査や術後のフォローアップを外来で受けた等）。

- ▶ Kコード（手術）を算定
- ▶ Jコード（処置）のうちDPC入院で出来高算定できるもの（※1）を算定  
※1：6000cm<sup>2</sup>以上の熱傷処置、慢性維持透析、体幹ギプス固定等、1000点以上
- ▶ Lコード（麻酔）を算定
- ▶ DPC算定病床の入院料区分
- ▶ 短期滞在手術等基本料2、3を算定

### ② 高額等の医療機器・設備を必要とする外来

・ 次のいずれかに該当する外来の受診を、「紹介受診重点外来」を受診したものとする。

- ▶ 外来化学療法加算を算定
- ▶ 外来放射線治療加算を算定
- ▶ 短期滞在手術等基本料1を算定
- ▶ Dコード（検査）、Eコード（画像診断）、Jコード（処置）のうち地域包括診療料において包括範囲外とされているもの（※2）を算定  
※2：脳誘発電位検査、CT撮影等、550点以上
- ▶ Kコード（手術）を算定
- ▶ Nコード（病理）を算定

### ③ 特定の領域に特化した機能を有する外来（紹介患者に対する外来等）

・ 次の外来の受診を、「紹介受診重点外来」を受診したものとする。

診療情報提供料Iを算定した30日以内に別の医療機関を受診した場合、当該「別の医療機関」の外来